

# 国立病院機構宇都宮病院

## 2019 臨床病理検討会(CPC)のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より大変お世話になり、厚くお礼申し上げます。

さて、最近では画像診断の進歩により「わざわざ病理解剖をしなくても十分な診断ができる」と考える医師もおりますが、現在でも臨床診断と剖検診断が一致しない症例は約 12%あるとされています。また病理解剖で詳細に検討を加えられた症例から学ぶこの方法は、すべての臨床医にとり生涯学習としての重要な意義を持つだけでなく、「医学は患者から学ぶことを基本とする」典型といえます(日本病理学会)。

この度 CPC を下記の要領にて開催いたしますので、皆さまご多用中とは思いますが是非ご参加頂きますよう、ご案内申し上げます。

敬白

### 記

【日 時】平成 31 年(2019 年)3 月 11 日(月)18 時 30 分～20 時(予定)

【会 場】国立病院機構(NHO)宇都宮病院 第2会議室

〒329-1193 宇都宮市下岡本町 2160

TEL:028-673-2111(代表) 028-673-2374(地域医療連携室)

【症例1】在宅医療経過中に虚血性心疾患を発症したと考えられた 88 歳男性

【症例2】EGFR 遺伝子変異陽性のⅣ期肺腺癌の 76 歳男性

【症例発表】黒崎 史朗 先生(国立病院機構宇都宮病院 呼吸器内科)

【病理解説】若松 早穂 先生(栃木県立がんセンター 病理診断科)

平林かおる 先生(栃木県立がんセンター 病理診断科)

【画像解説】荒川 浩明 先生(獨協医科大学 放射線科学教室)

主催:国立病院機構宇都宮病院